

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

「けん玉遊び」と 子どもの発達



「けん玉」は、感覚・運動・音楽を発達させる。とくに3〜5歳の発達段階が、ポイントと考えられます。けん玉の効果は、ポイントとめられます。①生涯学習・社会教育としてのけん玉。単なる遊びとしてだけでなく、集中力・バランス感覚を養うなどの視点から、広い教育的効果が認められています。



②集中力の育成
けん玉に集中して行ううちに、知らず知らずのうちに集中力が養われ、自信も感じられるようになります。脳の活性化、健康維持に有効な道具です。
③健康促進・全身運動
初心者は、ヒサを使わず、手だけで行い、ヒジを中心にして球を振り上げることが可能です。玉を垂直にあげるには、ヒサの屈伸で、バランスを取ります。

保育園の先生や子どもたちからは、こんな声を聞かれます。
①達成感かたまらない、自己実現目標達成
②リズム感、バランス感覚を伸ばす
③自己肯定感や自信が、自主性を発性を育む。
④技もさることながら、精神面で鍛えられる。
⑤けん玉で培った力か、字、ひらがなを伸ばす。
19年度一年間けん玉道場で練習した結果写真で見ればわかるように、姿勢とバランスがすばらしい。
全員がモシカをマスターし、練習を行いました。



5歳児30名が揃ってモシカも行なうと迫力は最高です。
よたご保育園のみならず、ありがたそう、そして良い一年間になったんだ。

